

芳賀町クイズ

Q1

昭和29年に芳賀町が誕生しました。当時の当初予算額は？

Q2

町民会館2階ホワイエにある陶壁に描かれている植物は？

ひばりタクシー運行中 北関東初(H17,7)の運行開始

平 成17年7月、町商工会により運行が開始された、ふれあいタクシー「ひばり」、毎日たくさんの方が利用しています。町内を300円(片道)で移動できることから好評を得ています。今後も利用者の視点にたったサービスの提供を目指します。



はがまち 〈第2回〉 再発見

私たちが、毎日生活を送る芳賀町。もう一度、その魅力を見つめてみましょう。他町にはない特色や町の取り組みなどがたくさんあります。意外なことに気が付くかも知れません。芳賀町の良さを再発見しましょう。2回目の今月号は、生活環境についてです。



仮 称)総合情報館の建設が始まりました。H19年9月工事完成、H20年10月開館予定です。

図書館、博物館、文書館の3つの機能を持ち、それぞれ本、民具や美術、古文書や行政文書を提供し、町の情報拠点として利用されることとなります。

光の道整備事業も今年度幹線工事が始まりました。行政施設と小中学校を結んでいきます。

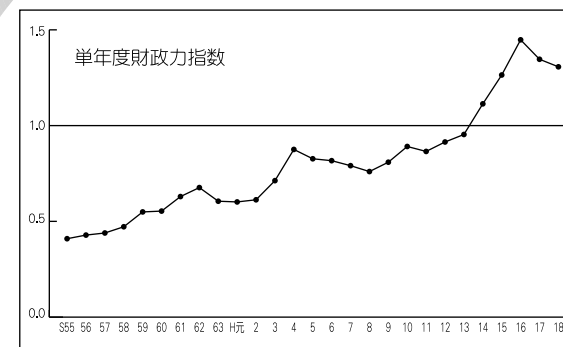
将来は町民会館内センター施設から、家庭のテレビや電話、パソコンを結んでサービスを提供していきます。21世紀の地域発展には欠かせない通信基盤として展開します。

総合情報館建設、 光の道整備事業に着手



財政力栃木県2位

※H18財政力指数より



地 方自治体の財政力を示す財政力指数は、平成17年度が1.353で県内1位。平成18年度は上三川町に次いで2位です。

昭和54年から芳賀・高根沢工業団地、平成元年からは芳賀工業団地の立地企業で操業が開始され、税収が右肩上がり順調に伸びています。平成14年度より国から交付税を受けない「不交付団体」になっています。

町民の皆さん1人当たり投じている費用は県内でトップです。今後も町民の皆様へのサービス向上につながる施策を積極的に推進します。

薬師の郷好評分譲

祖 母井南部土地区画整理事業区内の住宅地「薬師の郷」。平成17年5月、11月の分譲では好評を得ています。上下水道やガスが完備され、町の中心部近く利便性も優れています。

商業集積地や芳賀バイパス開通など、今後の発展も期待されています。

専用住宅用地60区画
店舗・事務所用地ほか8区画



<近隣市町との比較>

平成17年度普通会計決算統計より

	経常収支比率	実質公債費比率	地方債残高/標準財政規模	財政調整基金/標準財政規模	住民1人当たり歳出額	地方税徴収率	地方税収入に占める人件費率
芳賀町	69.1	12.1	94.5	23.8	553千円	94.2	31.1
市貝町	86.2	12.7	194.6	8.0	368千円	93.4	52.5
茂木町	84.5	12.7	181.4	3.2	428千円	86.3	83.4
益子町	85.4	14.0	173.2	7.3	263千円	75.7	64.3
真岡市	78.1	18.4	171.0	8.8	339千円	90.9	31.6
二宮町	80.4	12.2	164.8	20.7	276千円	85.7	84.8
宇都宮市	82.7	11.8	156.3	12.0	326千円	92.6	37.0
県内平均	85.6	13.7	169.5	11.4	336千円	88.1	59.9

芳賀町クイズの答え 02.11やき 016,900万円